

水俣市総合計画策定市民ワークショップ（第2回）

次 第

期日：平成30年7月7日（土）

時間：10:00～12:00

場所：水俣市こどもセンター（多世代交流室）

- 1 開会

- 2 総合計画策定について

- 3 第1回市民ワークショップの振り返り

- 4 第6次水俣市総合計画策定基礎資料等の説明
 - ・統計基礎資料
 - ・市民意識調査結果

- 5 作業

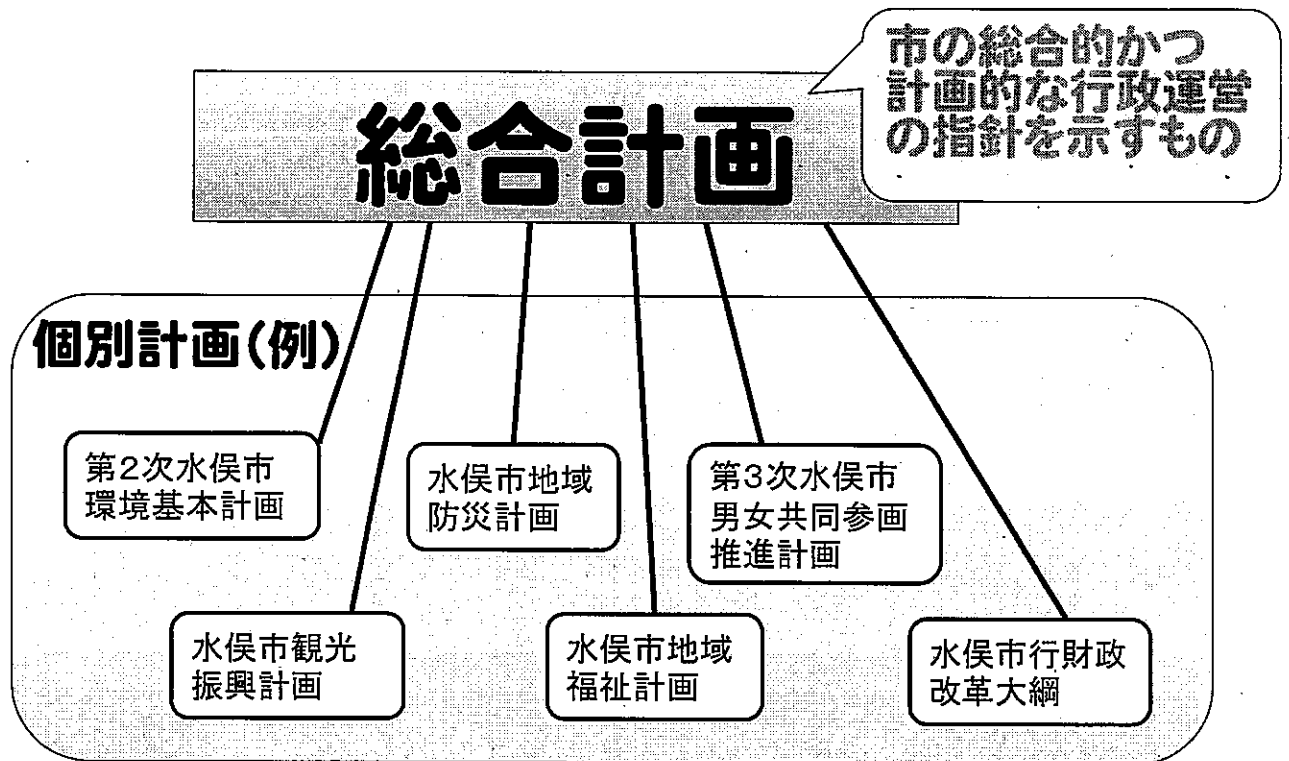
- 6 発表

- 7 閉会

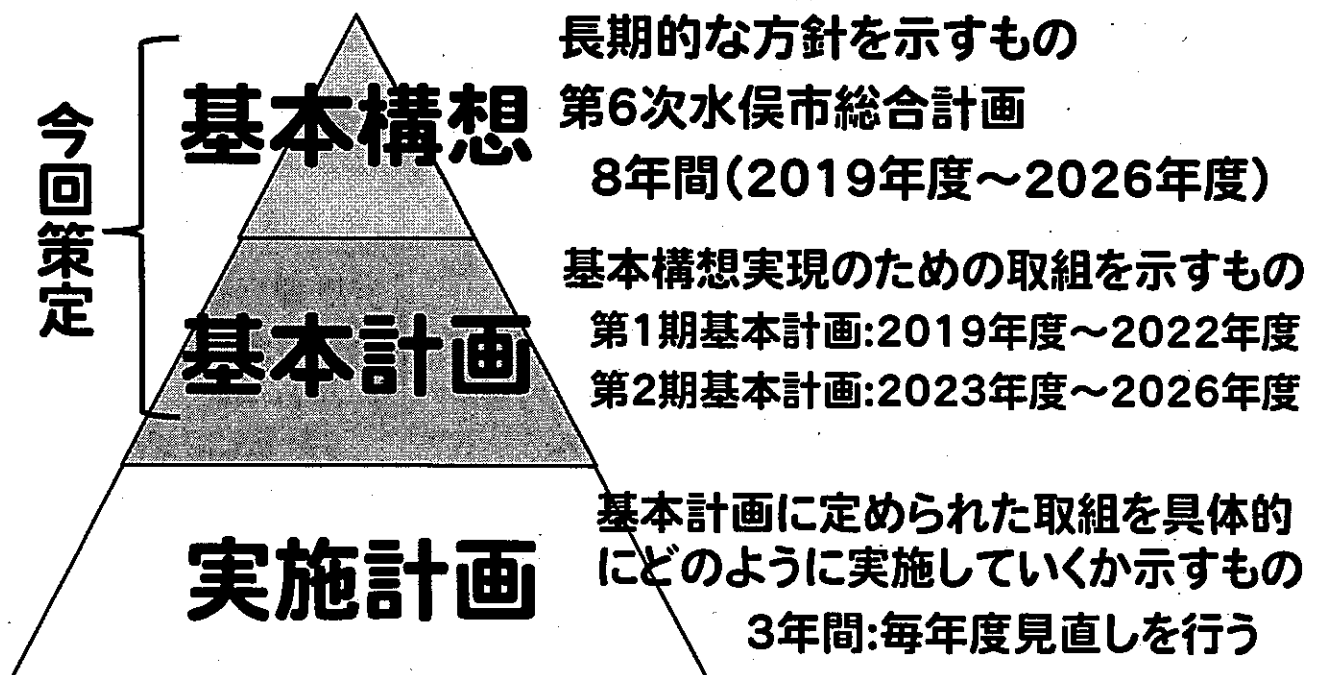
- 8 記念撮影



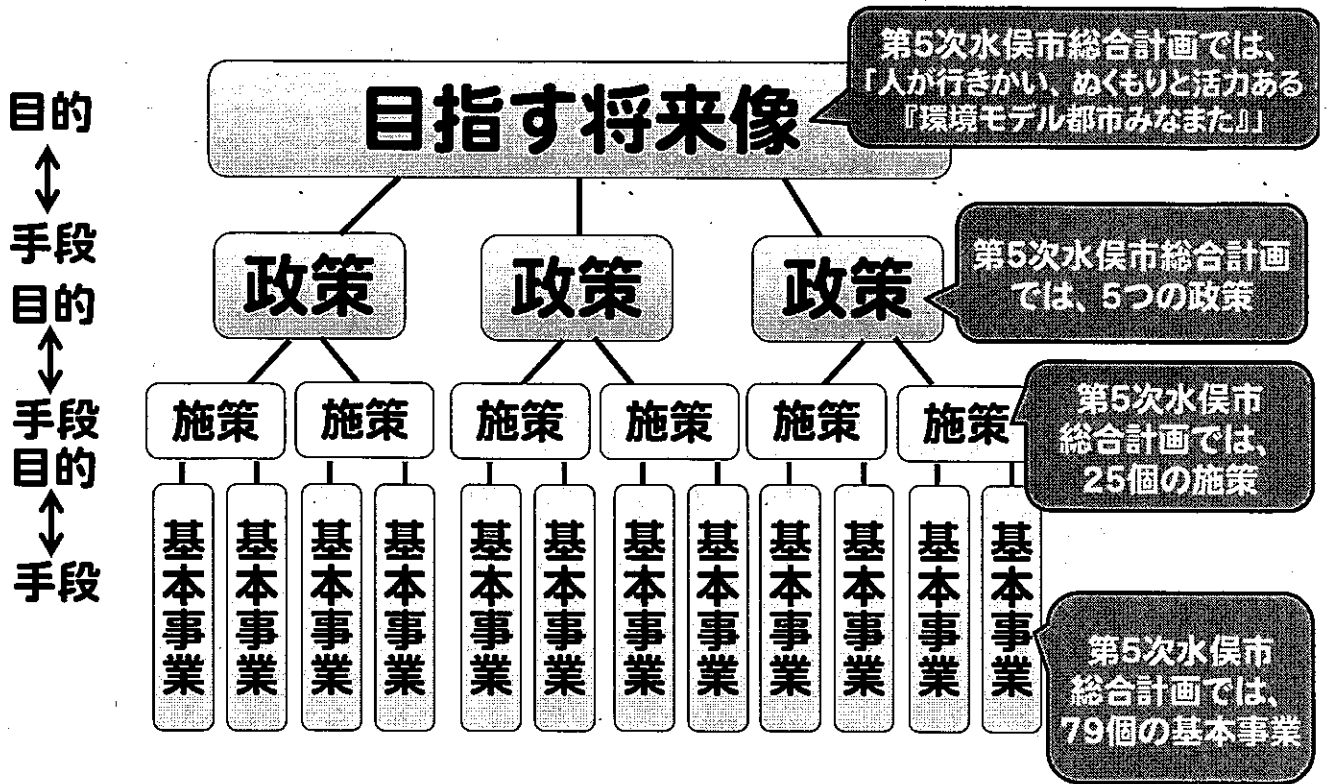
「総合計画」とは？



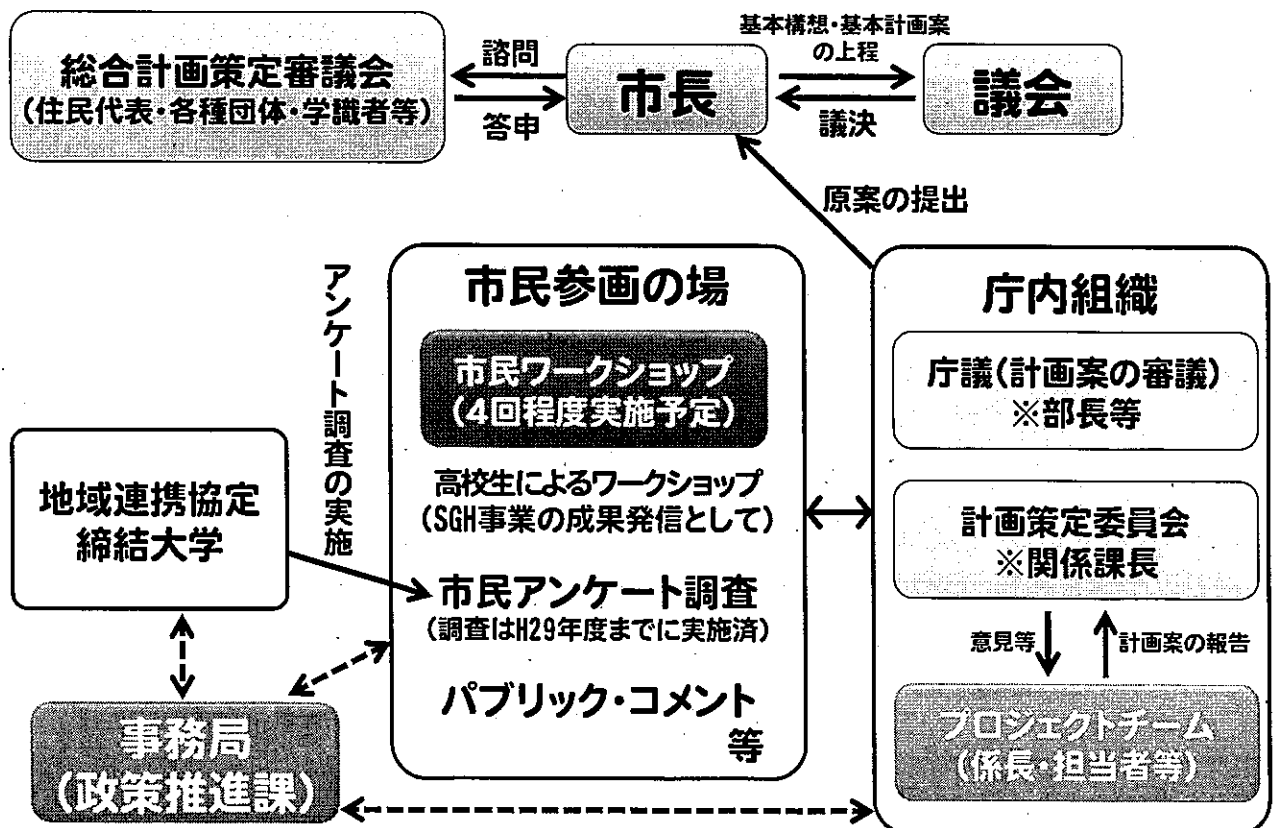
基本構想→基本計画→実施計画



目指す将来像→政策→施策→基本事業



市民ワークショップの位置づけ



高校生の主張！未来（10年後）の水俣への提言 発表概要

平成30年6月30日 第1回総合計画策定市民ワークショップ

A班：周りの地域の手本となるまち

世界には、発展途上国を中心として、ゴミ問題が社会問題として取り上げられています。また先進国だからといってゴミの量が少ない国ばかりではなく、日本も食品ロスだけで1000万トンもの量に上るといわれている。これらの問題解決に対して、水俣市がその中心になってほしい。水俣市が行っているさまざまな環境活動に対する活動がさらに盛り上がり、水俣市のごみの分別方法が、日本各地に、そして世界中に浸透してほしい。

B班：子どもの笑顔があふれるまち

10年後の水俣市は「子どもの笑顔があふれるまち」を目標にして、親世代の就職先の充実や、児童福祉や教育環境の充実などを行うことが重要なポイントではないか。教育はどの時代も一番に優先されるものではないか。もし、そんなまちがあればみんなが住みたくなり、子どもたちが笑顔になると思う。

C班：まわりの人との関係を大切にすまち

水俣市の何より素晴らしいところは、「もやい」という言葉で表されると思った。水俣病で引き裂かれた地域のきずなを取り戻したもやい直しは、「地域との関係・結びつきが薄くなっている」といわれる現代社会に必要な活動である。現在も、様々なボランティアが呼びかけられ、イベントでは小さな子どもも参加できるような工夫がされている。これからも、もっといろんな活動を、共に行う中で、まわりの人との関係を大切にできるまちになればいいと思う。

D班：活気ややりがいがあるまち

これまで環境対策というと、ごみ分別や節水・節電など、「利益」とはあまり結びつかないイメージだったが、「環境ビジネス」（環境に良いことを利益とした事業全般）が、日本・世界各地で行われていることを知った。水俣市の就業人口の資料から、男性は製造業や卸売・小売業、女性は医療福祉や卸売・小売業が多いことが分かったが、様々な職業があり、それを生かせるようなまちになれば、若者も残り、活気あるまちになるのではないかと思った。

E班：海のきれいな水俣

水俣湾は、水俣病が確認された時より、間違いなく美しく、きれいな海になったが、栄養分が少ない状態にある。解決策の一つとして、植林を考えた。山が美しければ、山の栄養が川を通して流れ込むだけでなく、大雨の時も土砂崩れを防止することができる。かつて汚れたことがある水俣湾、水俣の海が日本中、世界中のどの海よりも美しくなったら、現在水質汚染で苦しんでいる地域に住む人々や水銀被害に苦しんでいる国・地域に住んでいる人々にとって、何よりの希望になるのではないか。私たちは将来水俣市で働き、そして、次の世代に「美しい海がある水俣」を引き継いでいきたい。

F班：防災首都水俣

10年後の水俣に「防災首都」になってほしい。水俣市は東日本大震災の際、津波で大きな被害を受けた三陸海岸と同様、リアス海岸という地形的特徴があり、平成15年の豪雨災害の発生にもみられるように、土砂崩れや土砂災害の大きな被害が想定される、山が多いまちでもある。市民アンケートによると、水俣市民の防災意識は高いとあったが、災害に備えた準備が十分とは言えない部分がある。市民の防災「意識」が高まるだけでなく、実際に避難グッズを整えたり、避難訓練に積極的に参加したりといった「行動」が盛り上がってほしいと思っている。



第6次水俣市総合計画策定 (第1回) 市民ワークショップ

平成30年6月30日
水俣市公民館本館
(第1研修室)

水俣市総合政策部 政策推進課

A 班：周りの地域の手本となるまち

世界には、発展途上国を中心として、ゴミ問題が社会問題として取り上げられています。また先進国だからといってゴミの量が少ない国ばかりではなく、日本も食品ロスだけで1000万トンもの量に上るといわれています。これらの問題解決に対して、水俣市がその中心になってほしい。水俣市が行っているさまざまな環境活動に対する活動がさらに盛り上がり、水俣市のごみの分別方法が、日本各地に、そして世界中に浸透してほしい。

①活用できる地域資源

人

- ・環境意識の高い市民
- ・リサイクル推進員の存在
- ・専門的な人が居る事
- ・地域の方が協力している
- ・子供達がボランティアで参加＝良い
- ・埋め立てごみを持って行ったときに心が痛んだ(処分の様子に)
- ・子供たちの見学＝良い
- ・リサイクル委員さん、当番さんの努力大きい(負担感は減らしたい)
- ・指導してくださる人材

もの・システム

- ・地域に還元するシステム リサイクル還元金
- ・分別 高齢者、障がい者へ負担、配慮、もやいあい ノー分別のシール＝OK

②地域の課題

高齢者対策

- ・高齢者等のゴミ分別への配慮
- ・ゴミステーションを作ってもらった良かった 高齢者・障がい者のために

ゴミ分別意識

- ・ゴミ分別の意識を高める
- ・分別を何のためにやっているか 目標を持てたらいいかな！
- ・ゴミ分別の徹底
- ・分別も変わっていくべきではないか(たとえばビンの分類はこれでいいのか?)
- ・生ごみの分量を計測して水俣の状況を市民が知る
- ・ゴミ 価値観の違い
- ・紙ゴミを地域で出したら捨てられた 啓発が必要と思った

もの・場所

- ・地域のステーションに出せない人をどうするか?
- ・気軽にゴミが持ち込める場所
- ・リサイクルの場を多く作ってほしい 企業(リサイクルショップ)がなくなった
- ・資源ごみ、紙など出せる場が多くあってほしい。コンビニに図書館の本が返却可のように
- ・紙バッグなど活用 資源活用の場

③何をするか、できるか

分別

- ・分別を徹底する
- ・分別することを楽しむ
- ・出す前から分別しておく
- ・ゴミを出さないようなものを選ぶ
- ・分別を苦にせず買いたいものを買う
- ・ゴミの量を減らす・・・なんだから後ろ向き。ポジティブにゴミ問題を考えたい
- ・負担感にならない程のゴミの分別

利用方法・システム

- ・リサイクル リングブルでアート作品づくり 楽しくリサイクル
- ・生ごみを堆肥化して、農業・農園＝見える化システム
- ・ゴミを出さないように買物をひかえたりもしている。消費も拡大する方法は、リサイクル・・・かな
- ・ゴミ分別している、ゴミのないきれいなまち、アピールできる！まちにゴミが少くない

勉強

- ・年に一度ゴミの勉強を必ず！
- ・子どもでもわかりやすい分別表をつくる
- ・民間の業者をつなげる
- ・分別表をよく見る 見やすいところに貼っておく
- ・リサイクル品の行方を知りたい
- ・まず、水俣市民が環境への取り組みについて理解する機会を設ける

①活用できる地域資源

人

環境意識の高まり
 1997年7月18日
 鳥取県環境
 1000名

指導し
て下さ
人材

もの・システム

地域の歴史
 333システム
 リサイクル基金

②地域の課題

高齢者対策

高齢者等の
 個別対応
 高齢者
 対策

ゴミ分別意識

ゴミ分別の
 意識を
 高める
 ゴミ分別の
 意識を
 高める
 ゴミ分別の
 意識を
 高める

周りの地域の 手本となるまわ

もの場所

ゴミ分別の
 意識を
 高める
 ゴミ分別の
 意識を
 高める
 ゴミ分別の
 意識を
 高める

何があるか、できるか

利用方法・システム

勉強
 年に一度は
 ゴミ
 勉強
 必要

民間の
 業者も
 つらがる

分別
 意識
 必要
 ゴミ
 勉強
 必要

分別
 意識
 必要
 ゴミ
 勉強
 必要

③

A

グループ

B 班：子どもの笑顔があふれるまち

10年後の水俣市は「子どもの笑顔があふれるまち」を目標にして、親世代の就職先の充実や、児童福祉や教育環境の充実などを行うことが重要なポイントではないか。教育はどの時代も一番に優先されるものではないか。もし、そんなまちがあればみんなが住みたくなくなり、子どもたちが笑顔になると思う。

○食・人

地域の資源

- ・今の水俣の子供達
- ・SGH
- ・市民
- ・水俣高校の生徒さんたち
- ・水俣の女性
- ・小規模クラス
- ・おいしい海の幸
- ・安全な体にいい食べ物
- ・無農薬の安心安全な食べもの

課題

- ・大学・専門学校がない
- ・進学塾が少ない
- ・社会体育指導者不足
- ・子どものたまり場
- ・人口減少
- ・一人暮らし老人増加
- ・高齢化
- ・人手不足解消
- ・子育て、高齢者問題同時解決

何をするか、できるか

- ・シルババー活用(見守り)
- ・小規模学校の良さを活用
- ・自分の子供に水俣を好きにさせる
- ・放課後の先生がわり(部活、あそび)
- ・堂々と注意できるしくみづくり
- ・地域の人とコミュニケーションをとる
- ・地域活動に参加する
- ・環境の良さを伝える
- ・地域での仲間づくり
- ・JC(青年会議所)→他人事を自分事に
- ・定期的な清掃活動
- ・自社の農産品を販路拡大しながら水俣のPR
- ・おいしい食品の開発
- ・サポート

○住・職

課題

- ・求人あるけど人が集まらない
- ・一次産業 労働者減少
- ・農業の担い手
- ・就職先が少ない
- ・人材の不足
- ・働く場所
- ・ミスマッチ
- ・勤め先確保

何をするか、できるか

- ・意見・要望を聞く
- ・仕事に活かせる
- ・事業拡大(雇用)
- ・働きやすい職場づくり

○環境・土地

地域の資源

- ・自然豊か
- ・海・川・山の自然
- ・エコパーク(子供が遊べる場所)
- ・病院

課題

- ・交通の便が悪い
- ・耕作放棄地の解決
- ・土地が高い
- ・土地(平地が少ない)
- ・物価
- ・物が少ない
- ・交通の便が悪い
- ・体力向上のための施設
- ・空き店舗 空き家
- ・シャッター街
- ・遊び場
- ・高校生のたまり場がない
- ・おしゃやれな店が少ない
- ・カフェが少ない
- ・ファストフード店がない
- ・高校生が飲食できる場所が少ない

何をするか、できるか

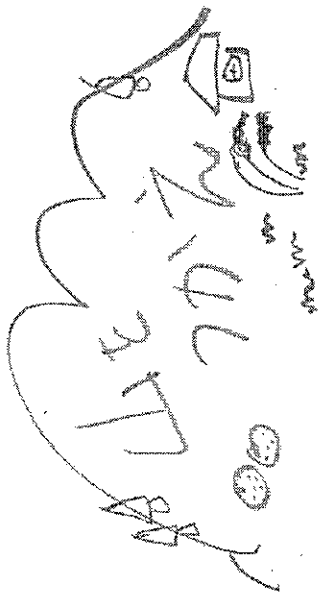
- ・グリーンスポーツの再利用
- ・交通網活用
- ・店舗拡充
- ・地域密着イベント

○結論

山をつかえ

山には仕事も食べ物もいっぱい

Bグループ



子どもの笑顔が あふれるまち

大勢の
児童が
通学路が
少ない
小規模
児童の
足下
活字

社会教育
活動

小規模
798

水の
子供達

自分の子供
に水と
使ってもら
水質
水質
水質

水質
水質

水質
水質

サポート

市民

山には
水質
水質
水質

人口減少

人口減少
人口減少

高齢化

高齢化
高齢化

高齢化
高齢化

高齢化
高齢化

住
職

食
遊

緑地
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

公園
公園

求人あふれ
人が集まる
一次産業
労働者減少
労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

労働者減少
労働者減少

C班:まわりの人との関係を大切にすまち

水俣市の何より素晴らしいところは、「もやい」という言葉で表されると思った。水俣病で引き裂かれた地域のきずなを取り戻したもやい直しは、「地域との関係・結びつきが薄くなっている」といわれる現代社会に必要な活動である。現在も、様々なボランティアが呼びかけられ、イベントでは小さな子どもも参加できるような工夫がされている。これからも、もっといろいろな活動を、共に行う中で、まわりの人との関係を大切にできるまちななればいいと思う。

①「小さなまち」を生かす(地域資源)

- ・水俣川
- ・森林資源
- ・コンパクトな地域に海山川がある
- ・自然が残されている
- ・空き家
- ・生ごみを堆肥にするやつ(キエーロ)
- ・医療施設
- ・人口が少ない
- ・小さな町で知り合いが多い
- ・歩ける距離
- ・高齢者のお手伝い(畑・庭の手入れ etc.)
- ・「水俣」のネームバリュー

②ハンパある地域(課題・現状)

- ・地域間の関わり
- ・地域の集まり
- ・口に出さない基本的な人間関係
- ・イベントの量と量に対する質
- ・学校の校区の広さ
- ・竹
- ・公的施設が少ない
- ・おせっかいコンシエージュ(が必要)
- ・子どもの遊び場づくり(地域の人の見守り)
- ・目の前の海・川で子供だけで遊べない
- ・子どもがいないと(地域のことを)知ることがむずかしい
- ・積極性の差

③0(ゼロ)から始める新しい「もやい」(何をするか、できるか)

- ・遊ぶ
- ・外からの情報をネットで発信
- ・人材の地域への導入
- ・行事への参加
- ・パーティ(飲み会)
- ・地域の運動会や運動サークル
- ・例えばプレイパークをつくらうという動きをすることで始まるつながり
- ・話す
- ・周りの人への声かけ(特に高齢者)
- ・おもしろいことを考える
- ・声かけ 見守り
- ・遊び場の整備
- ・紙漉
- ・大人(高齢者)と子供の交流

★ハニレにある地域★

②

① 別のまち
を生成す

ゼロから始める
新しい③毛毡

水産	航空	県庁	環境
森林資源	医療施設	水産	水産
森林資源	水産	水産	水産
水産	水産	水産	水産

地域	中央	中央	中央
地域	中央	中央	中央
地域	中央	中央	中央
地域	中央	中央	中央

竹

中心の量
量

環境

環境

おんじ

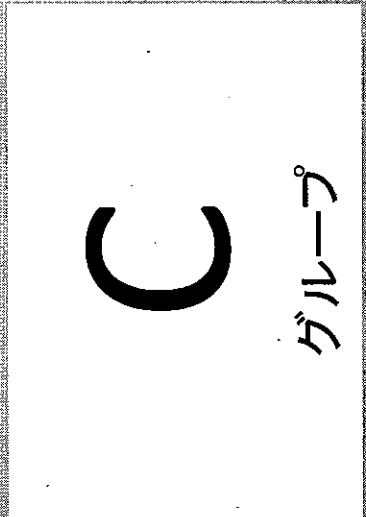
おんじ

おんじ

おんじ

おんじ

おんじ



グループ

環境	環境
環境	環境
環境	環境
環境	環境

D班：活気ややりがいがいまられるまち

これまで環境対策というところ、ごみ分別や節水・節電など、「利益」とはあまり結びつかないイメージだったが、「環境ビジネス」(環境に良いことを利益とした事業全般)が、日本・世界各地で行われていることを知った。水俣市の就業人口の資料から、男性は製造業や卸売・小売業、女性は医療福祉や卸売・小売業が多いことが分かったが、様々な職業があり、それを生かせるようなまちなれば、若者も残り、活気あるまちになるのではないかと思った。

地域資源	課題	何をするか、何ができるか
空き家	空き家、空き店舗 空き家が多い 空き家を解消	空き家を利用してコミュニティセンターを作る 学習環境(塾がない) 子どもの心を育てる 子どもの体を育てる
分別された資源ごみ 環境配慮：町全体、市民 高い市民意識	本当はゴミ分別を面倒だと思っ てる	分別された資源が水俣ブランドで商品化される 家族でゴミ拾いをしている もつと水俣に目を向けてみる こと 地元のイベントに積極的に参加する (あったらいいもの) 自然のアスレチックと遊園地 水族館 海中レストラン
自然 森林資源 湯ノ見・湯の鶴温泉 ローズガーデン コスモス園 タツノオトシゴ 恋龍祭 海 グリーンパーク		

地域資源	課題	何をするか、何ができるか
	教育	親の意識(市外を向いている) 子や孫に水俣に就職するように小さいうちから洗脳する (できたらいいこと) 大学・専門学校の設立
	高齡化 一人暮らしの人 地域のつながりが希薄 若い世代が少ない 一人暮らしの介護問題 高齡者による高齡者介護	
音楽 バンド活動 オペラ コーラス	雇用 買い物 店がない(魅力的な) 大型スーパーがない 商店街 娯楽施設がない	(あったらいいもの) ライブハウス マック(マクドナルド)がほしい

D

グループ

① 地域資源
課題
何からやる

区別

空の家

本場を
も回す
心

教育

向
外

地域
の人

空の家

空の家
の
心

空の家
の
心

空の家

E班：海のきれいな水俣

水俣湾は、水俣病が確認された時より、間違いなく美しく、きれいな海になったが、栄養分が少ない状態にある。解決策の一つとして、植林を考えた。山が美しければ、山の栄養が川を通して流れ込むだけでなく、大雨の時も土砂崩れを防止することができる。かつて汚れたことがある水俣湾、水俣の海が日本中、世界中のどの海よりも美しくなったら、現在水質汚染で苦しんでいる地域に住む人々や水銀被害に苦しんでいる国・地域に住んでいる人々にとって、何よりの希望になるのではないか。私たちは将来水俣市で働き、そして、次の世代に「美しい海がある水俣」を引き継いでいきたい。

地域資源

- ・水
- ・米
- ・海産物
- ・木材
- ・山
- ・川

課題

- ・ゴミ
- ・川・海のゴミ
- ・生活排水
- ・農・林・漁業の従事者(少)
- ・高齢化
- ・イメージ
- ・道路がせまい

やるべきこと

- ・ゴミを拾う(ボランティア参加など)
- ・森林整備(ボランティアではなく)
- ・農業・林業の仕事を知る
- ・湾岸整備(ボランティアではなく)
- ・観光PR(体験観光)

資源

水 米 海産物 木材

山 川

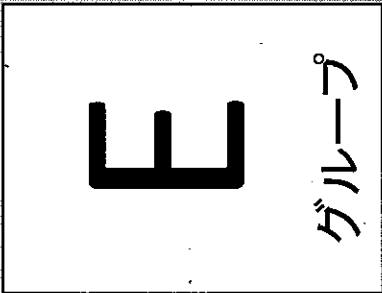
海のきれいな水俣

課題

ゴミ 川のゴミ 生活排水 農・林・漁業の排水 ②③ 高層化

やるべき事

森林整備 (1997年12月) 農業用水の浄化 (1997年12月) 生活排水 (1997年12月) 排水処理 (1997年12月)



F班:防災首都水俣

10年後の水俣に「防災首都」になってほしい。水俣市は東日本大震災の際、津波で大きな被害を受けた三陸海岸と同様、リアス海岸という地形的特徴があり、平成 15 年の豪雨災害の発生にもみられるように、土砂崩れや土砂災害の大きな被害が想定される、山が多いまちでもある。市民アンケートによると、水俣市民の防災意識は高いとあったが、災害に備えた準備が十分とは言えない部分がある。市民の防災「意識」が高まるだけでなく、実際に避難グッズを整えたり、避難訓練に積極的に参加したりといった「行動」が盛り上がりつつあると思っている。

資源

- ・ハザードマップ
- ・防災マップ
- ・危険地区
- ・ハザードマップを準備
- ・ハザードマップの活用方法 もっと地域ごとに具体的に
- ・消防署
- ・消防団
- ・消防団の重要性

課題

- ・サイレン
- ・防災無線
- ・サイレン放送
- ・スマホ
- ・情報収集(地域差)
- ・周知方法
- ・避難の情報の慣れ
- ・避難場所(車いす)
- ・材木の伐採の影響等の調査

意識

- ・市民の意識
- ・市民の意識向上
- ・防災意識を持つ
- ・防災意識高める
- ・防災意識の向上(もしかしたら・・・)
- ・当事者意識を持つ
- ・避難訓練への参加
- ・避難訓練
- ・避難場所
- ・地域ごとの対応した避難内容

自分でできること

- ・避難準備物
- ・非常カバン
- ・非常持ち出し品をまとめておく チェック
- ・避難グッズ
- ・防災準備(備え)
- ・持ち出しグッズ準備
- ・災害に備えての準備
- ・避難する
- ・知る
- ・危険場所のチェック
- ・避難場所(までの)への確認
- ・避難する方法
- ・確認
- ・逃げ道を共有する
- ・家で話し合い 避難場所、待ち合わせ場所
- ・声
- ・呼びかけ
- ・見回り
- ・近所に目配り、声かけ
- ・地域のつながり
- ・見守り(気にしあう)
- ・話し合い

Fグループ

資源

課題

防災首都水俣

意識

意識

CPA
OUT

声

災害
備えの
準備

話し

状況

知る

避難
グッズ

巡回

非常時に
どうする
か

自分
で
できること

避難訓練
への
参加
を
高める

市民の
意識
向上

市民の
意識
向上

市民の
意識
向上

ハヤト
マップ

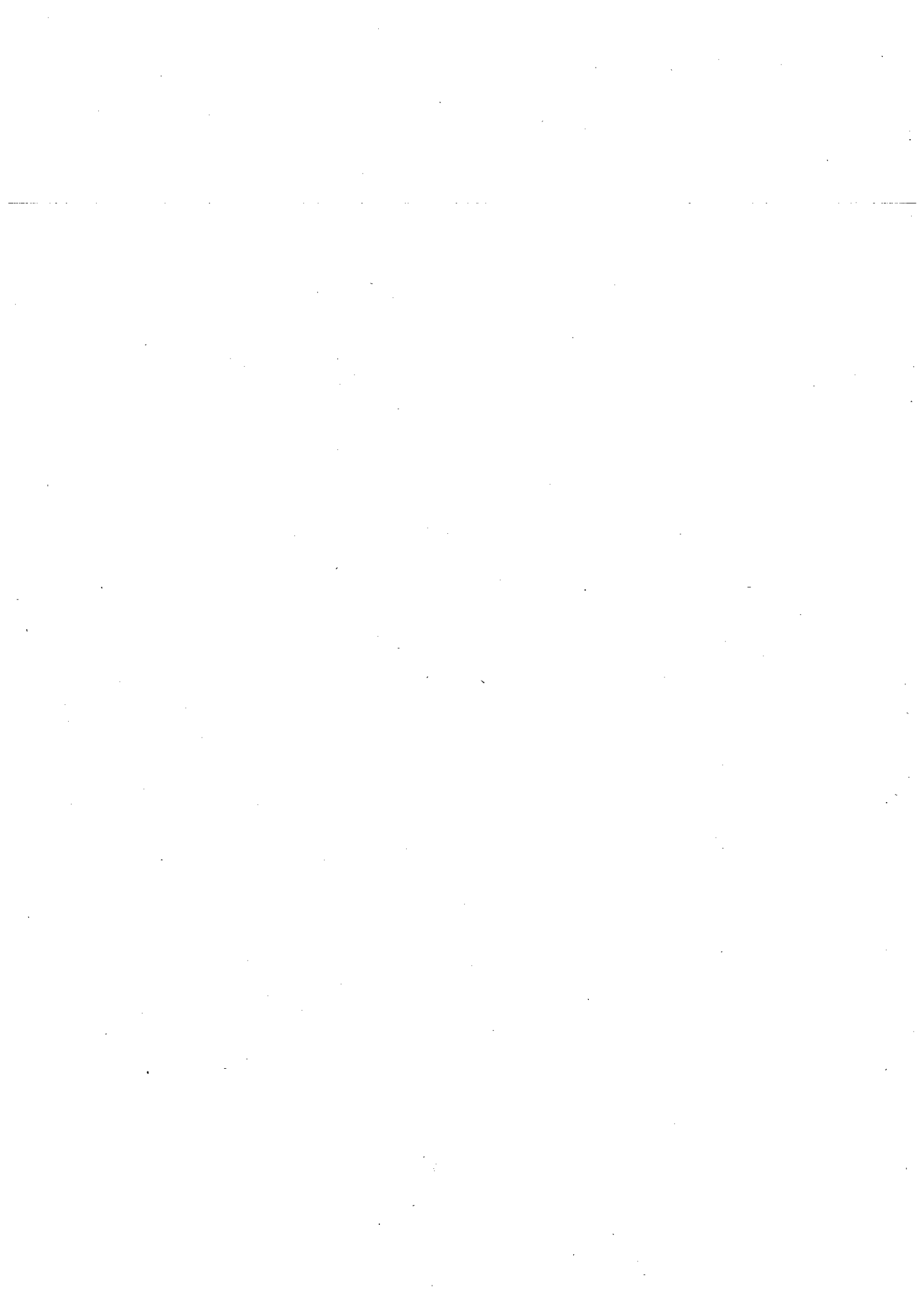
防災

防災

防災

防災

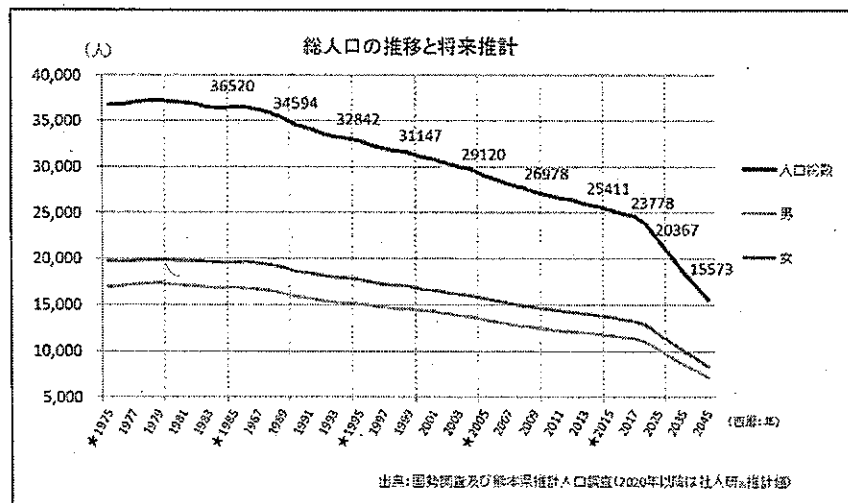
防災



第6次水俣市総合計画策定に係る基礎資料

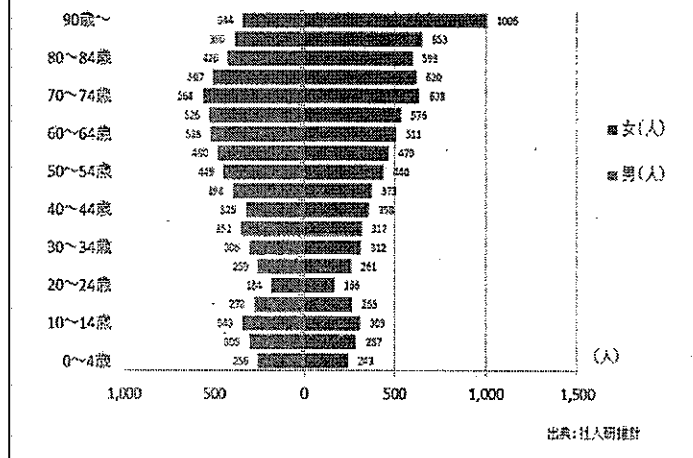
水俣市 政策推進課

1 将来人口推計等について

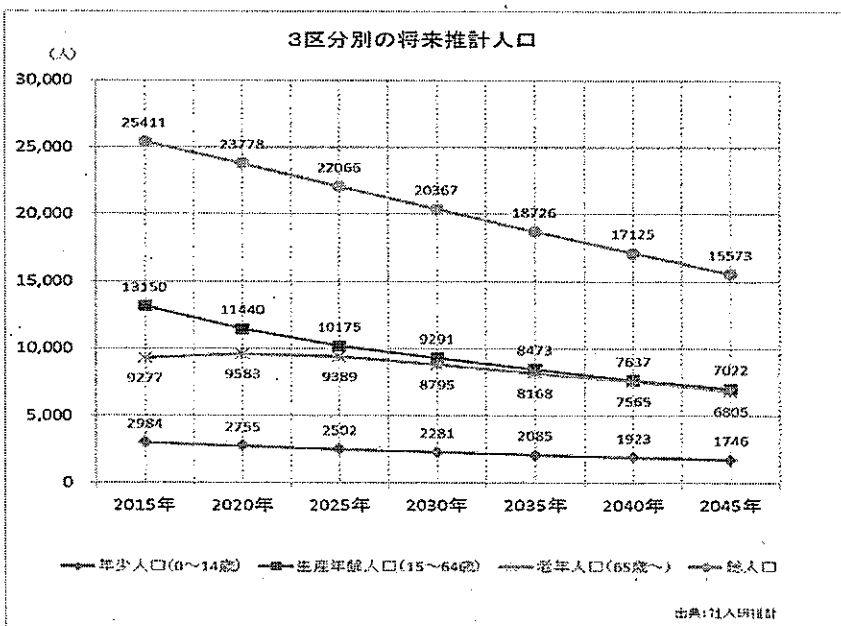


将来人口ピラミッド

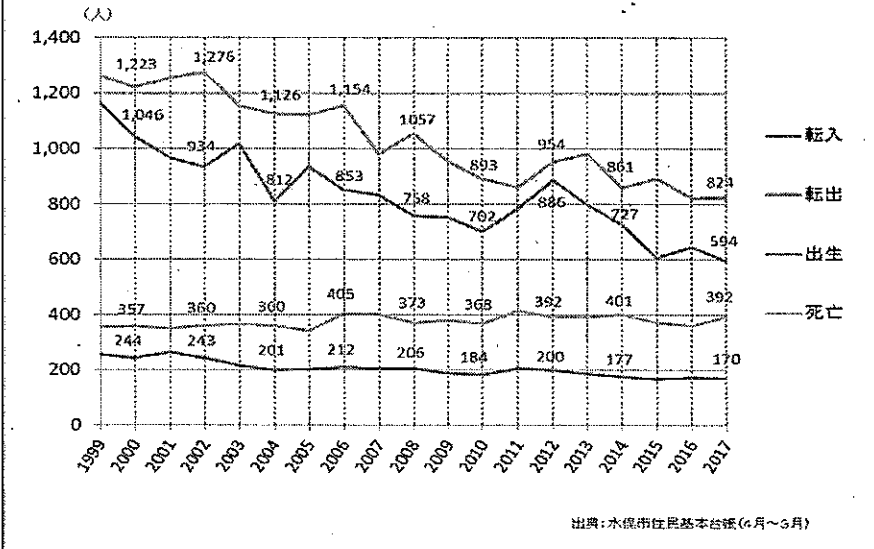
2045年推計人口 15,573人



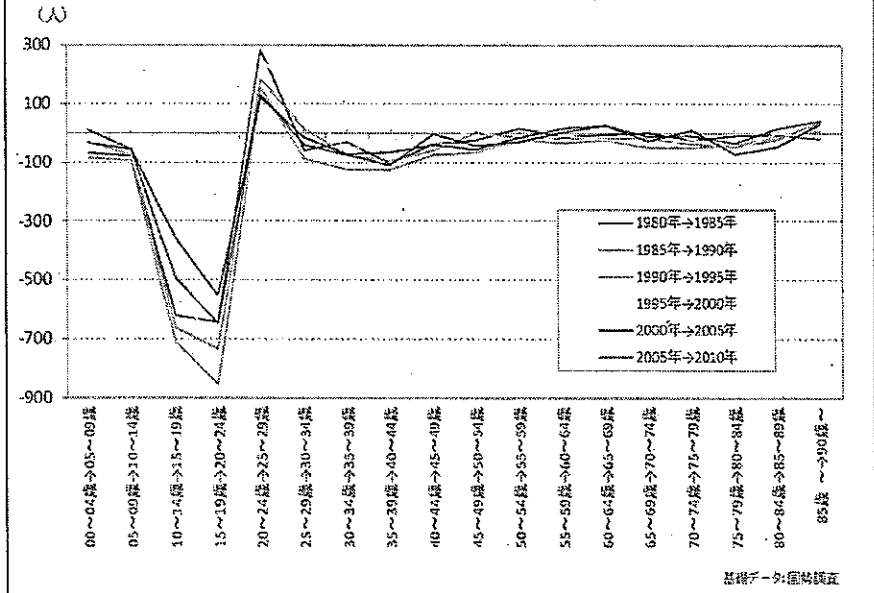
3区分別の将来推計人口

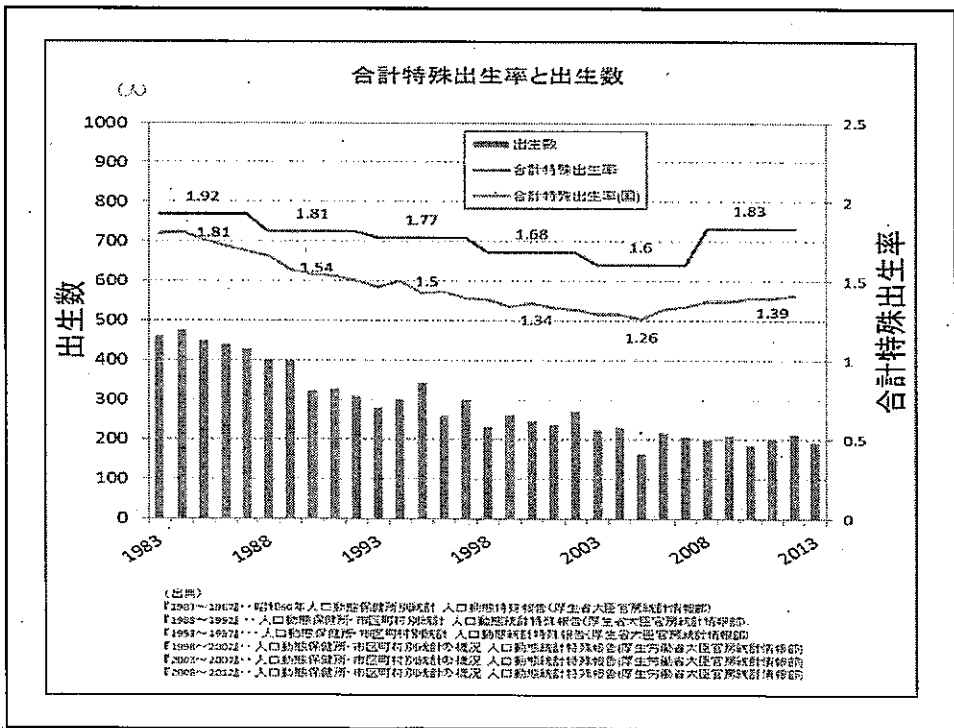
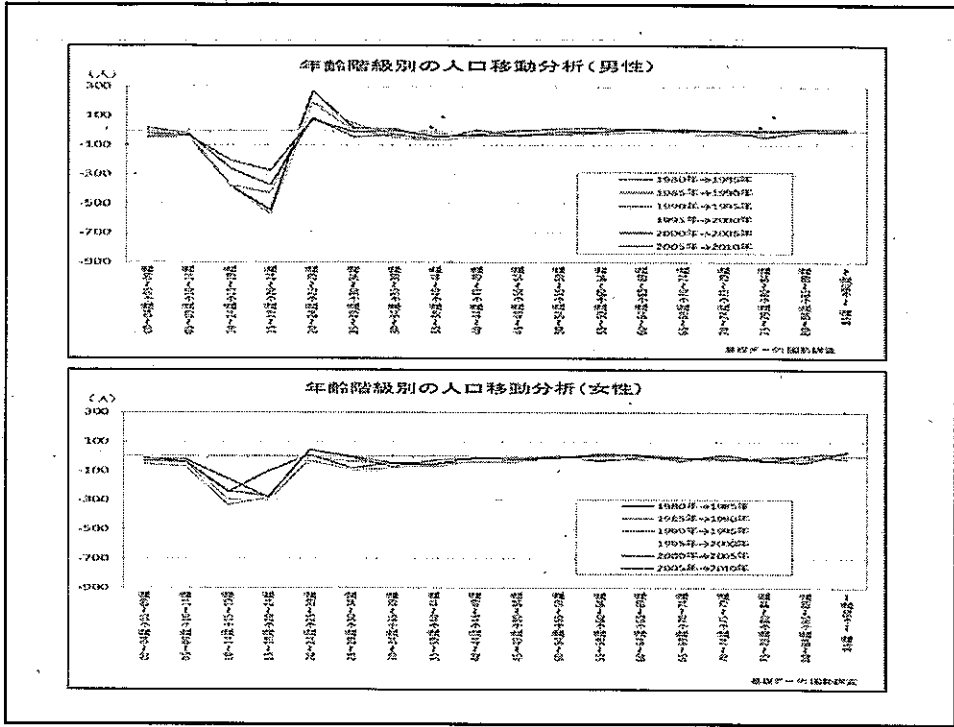


自然増減(出生数-死亡数)と社会増減(転入-転出)の推移

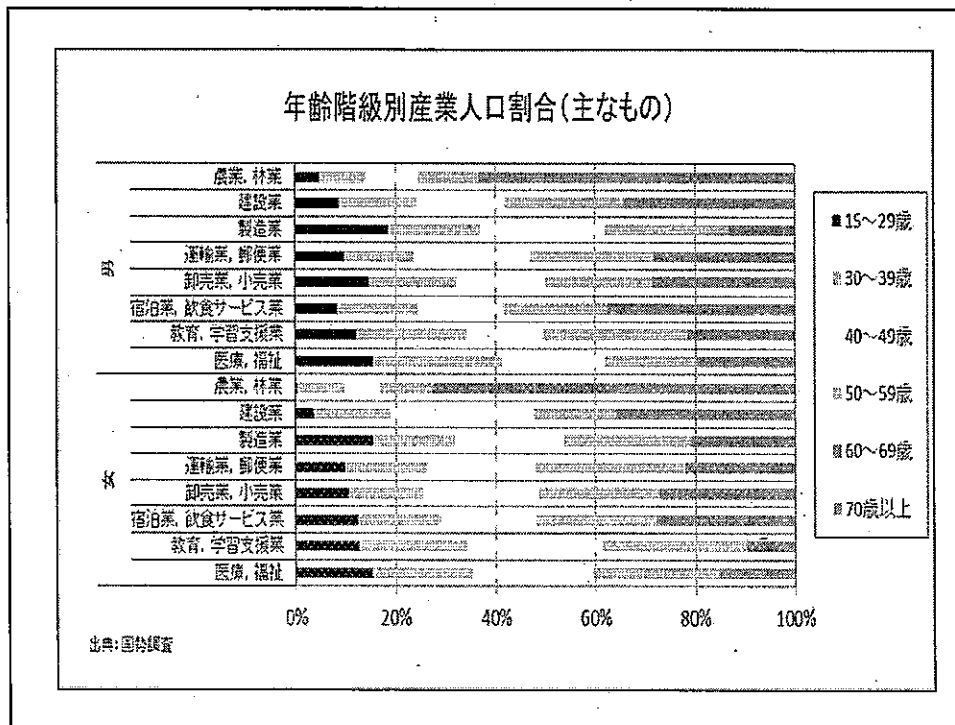
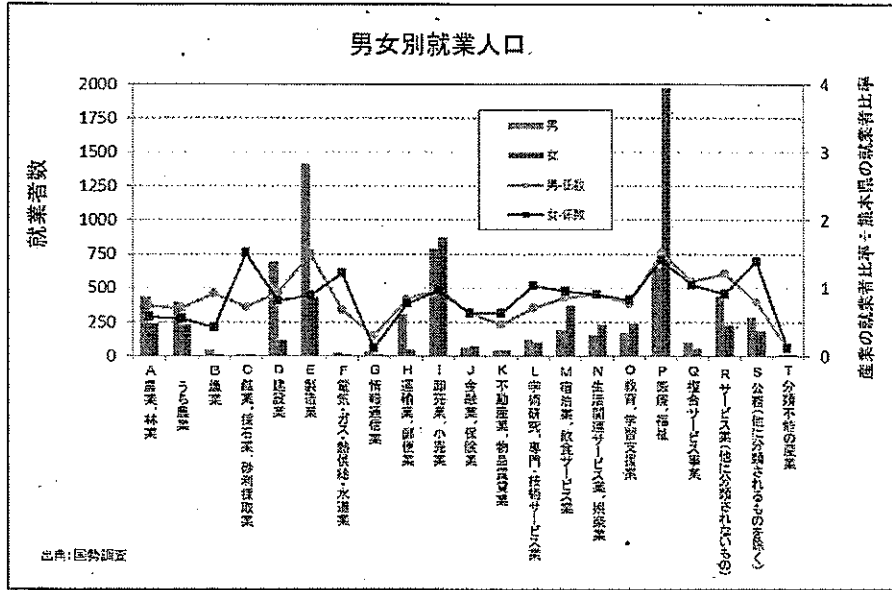


年齢階級別の人口移動分析(全体)

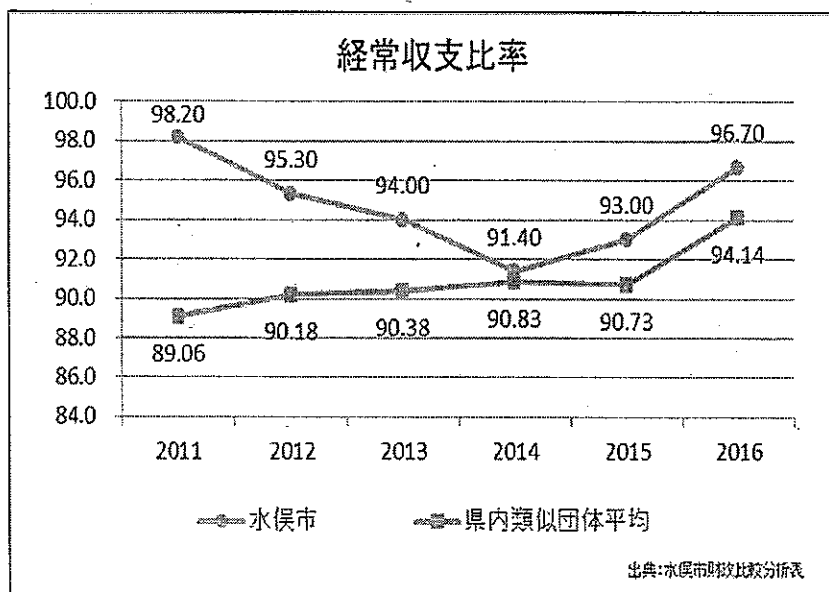
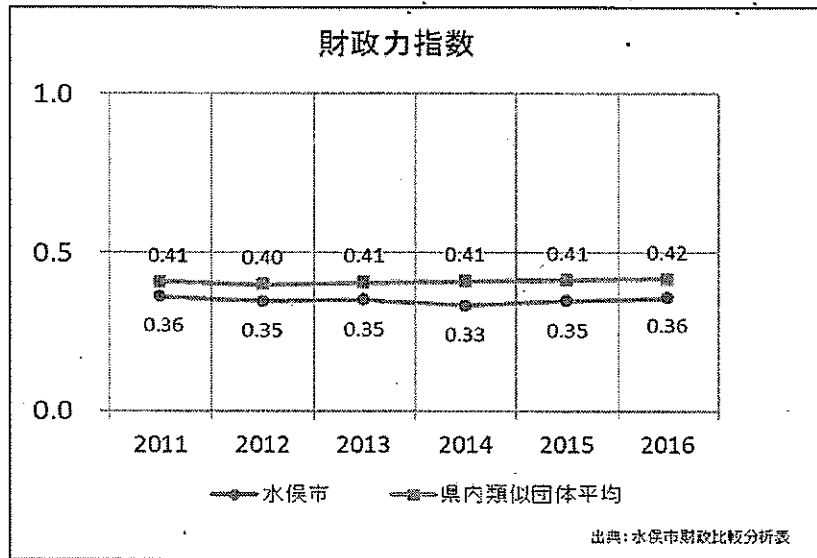




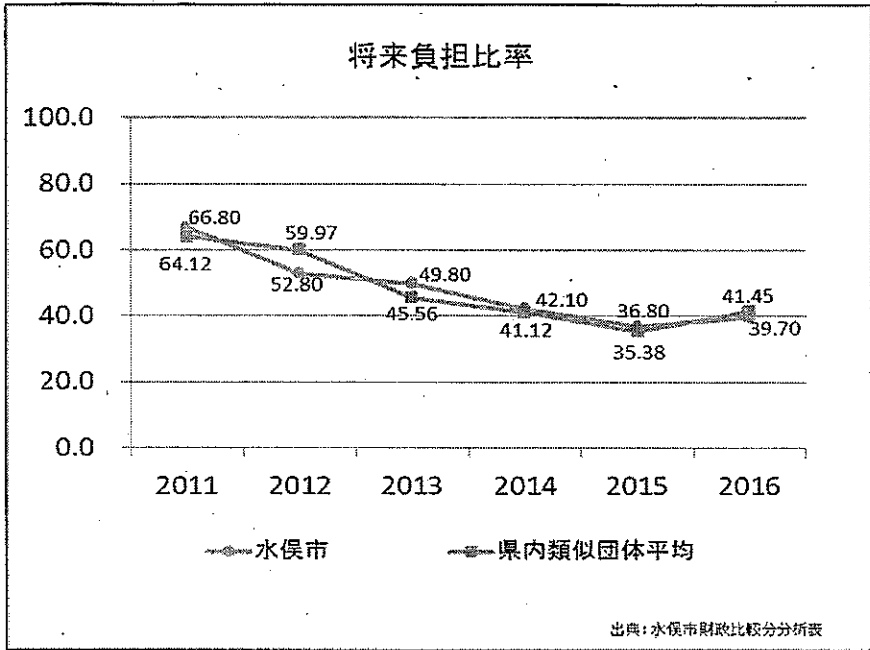
2 就業人口等について



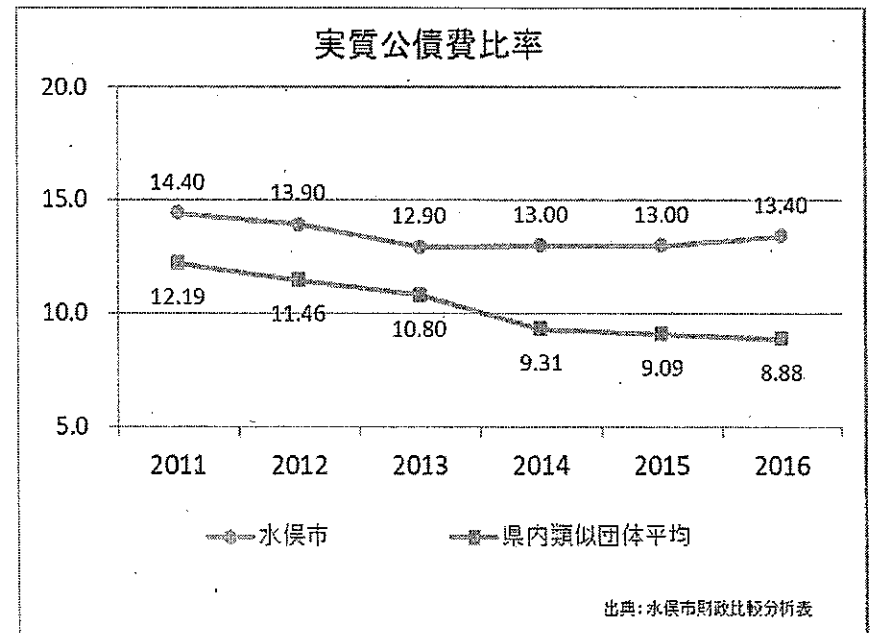
3 本市の財政状況について



将来負担比率



実質公債費比率



水俣市民意識調査(アンケート)

集計結果報告書

(一部抜粋)

慶應義塾大学 環境情報学部
准教授 植原 啓介

1 アンケートの趣旨

本アンケートは、「知」の連携を進め、新しい価値を創造し、まちづくり及び教育・研究活動の発展を図ることを目的に、平成27年2月に水俣市と慶應義塾大学との間で締結した連携・協力に関する協定に基づき、水俣市及び九州大学工学研究院都市システム工学講座馬奈木主幹教授の協力の下に実施したものです。

2 実施内容

- ・ 一般的な市民の意識調査(住みやすさ、交通の便、家庭行事、食事など)
- ・ 一般的な健康・福祉に関する調査(健康増進意識、子育てのしやすさなど)
- ・ 教育に関する調査(塾通い、課外活動、通学時間など)
- ・ 産業に関する調査(産業誘致など)
- ・ 防災・防犯に関する調査(避難所の認識、避難袋の準備状況など)
- ・ 環境に関する調査(環境意識、ゴミの量、ゴミ分別の負担など)
- ・ 上記とソーシャルキャピタル(社会関係資本)に関する関係性の調査

3 実施主体 慶應義塾大学環境情報学部 植原研究室

4 協力機関 水俣市・九州大学

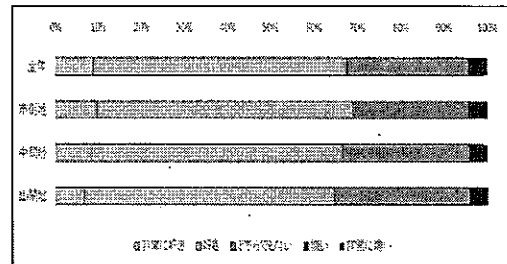
5 調査時期 平成28年12月～平成29年1月31日

6 調査対象 全戸調査(11,891世帯)

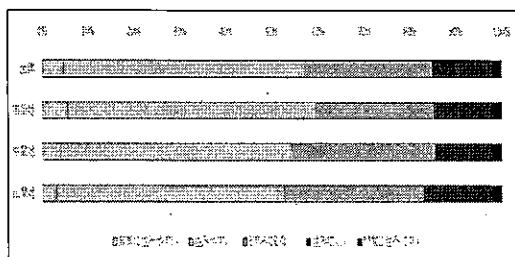
7 回収数 4,222世帯

8 回収率 36%

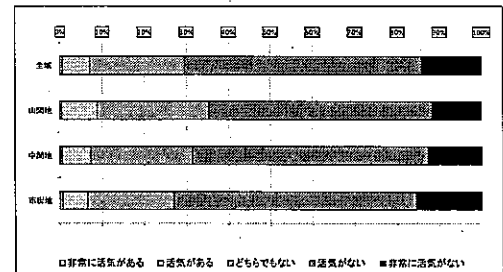
1 あなたは水俣市が好きですか？



2 水俣市は他の場所と比較して住みやすいと感じますか？



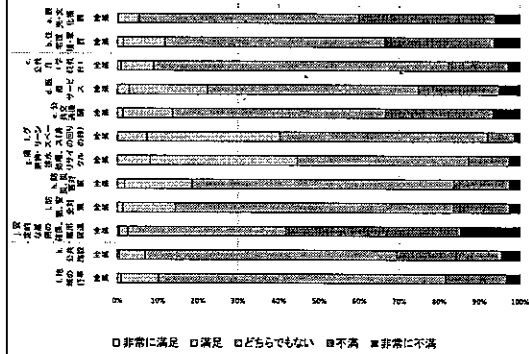
3 水俣市の現在の活気をどう感じていますか？



4 生活の上で、以下の項目に関する満足度についてお答えください。

- a. 観光・文化振興
- b. 住宅環境・家賃
- c. 公教育(学校教育)
- d. 医療サービス
- e. 公共交通機関
- f. グリーンスペース(身の回りの緑)
- g. 廃棄物・排水処理、リサイクル
- h. 防災、災害対策
- i. 防犯、安全対策
- j. 安定的な雇用の確保、雇用促進
- k. 公共施設
- l. 地域の行事

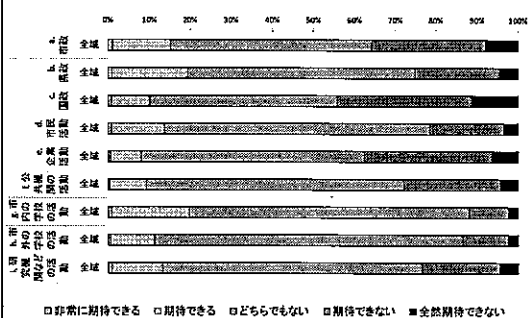
生活の上で、以下の項目の満足度についてお答えください。



5 水俣市がよりよい街になるための以下の項目の期待度についてお答えください。

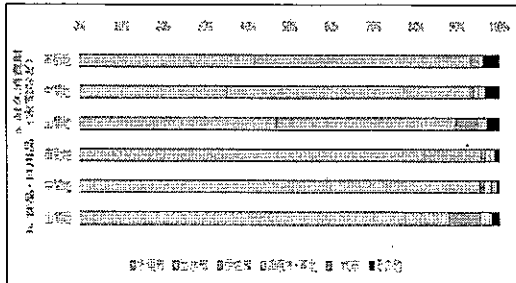
- a. 市政
- b. 県政
- c. 国政
- d. 市民活動
- e. 企業活動
- f. 公共機関の活動
- g. 市内の学校の活動
- h. 市外の学校の活動
- i. 研究機関などの活動

水俣市がよりよい街になるための以下の項目の期待度についてお答えください。

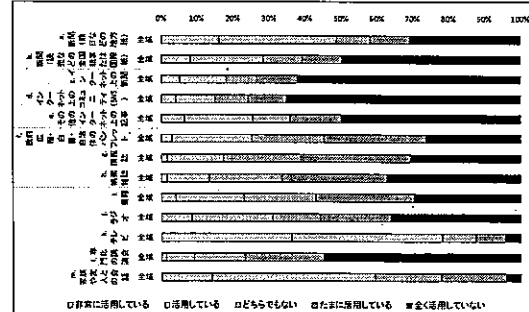


6 あなたの世帯では普段どこで買物をしますか？

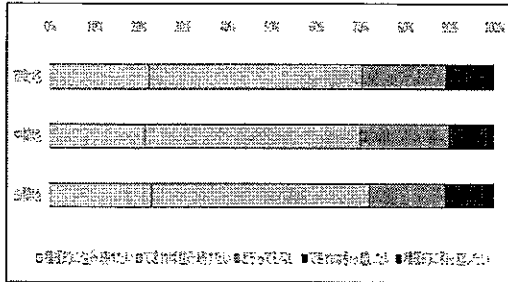
- a. 耐久消費財(家電など)
- b. 食品・日用品



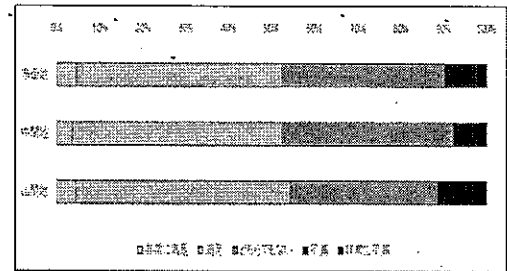
7 あなたの世帯の情報源について、活用の度合いをお答えください。



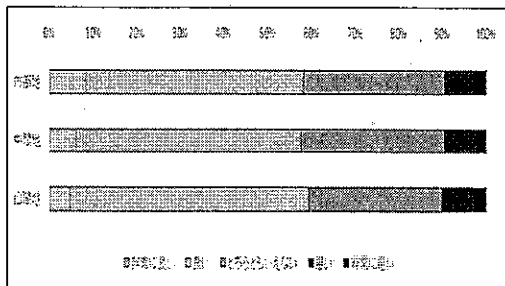
8 あなたの世帯は今後も水俣市に住み続けたいと思いますか？実際に住み続けるつもりかどうかにとらわれず、ご希望をお答えください。



9 総合して現在の生活にどの程度満足していますか？



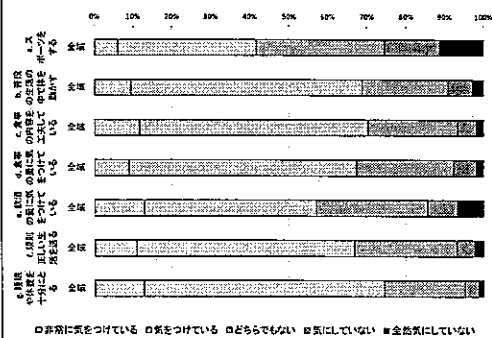
10 あなたの世帯の健康はどうか？特定の個人にとらわれず、世帯全体を総合的にみてお答えください。



11 健康のために気をつけている項目について、その割合をお答えください。

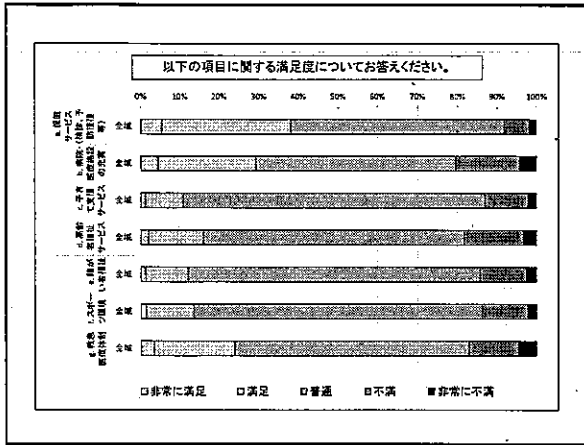
- a. スポーツをする
- b. 普段の生活の中で体を動かす
- c. 食事の内容を工夫している
- d. 食事の量に気をつけている
- e. 飲酒の量に気をつけている
- f. 規則正しい生活を送る
- g. 睡眠や休養を十分にとる

健康のために気をつけている項目について、その割合をお答えください。

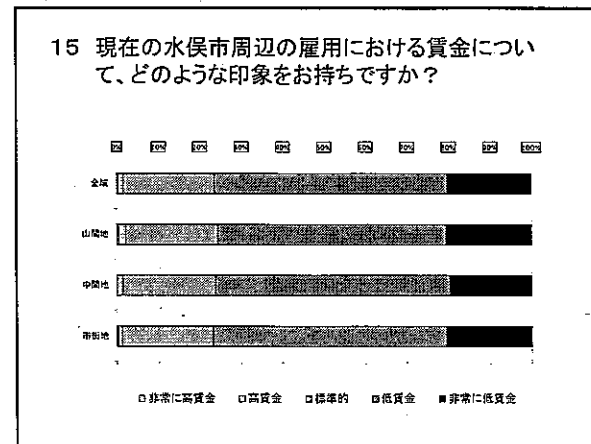
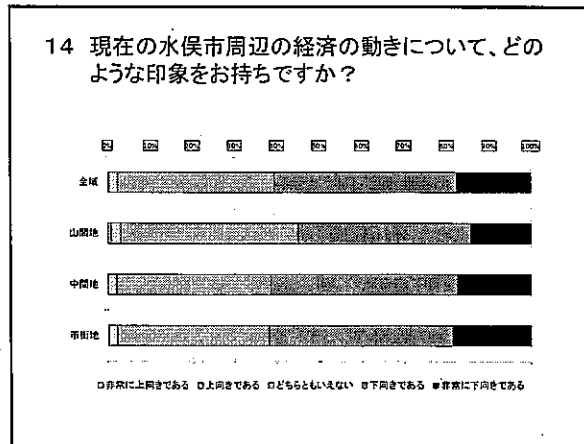
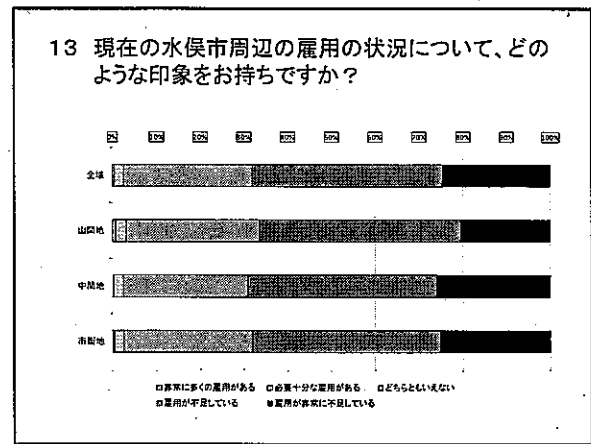
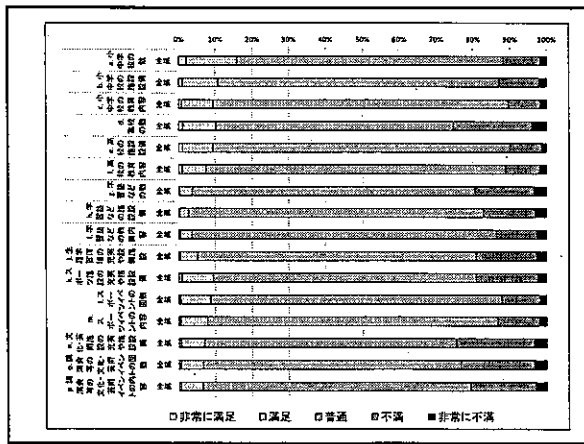


12 以下の項目に関する満足度についてお答えください。

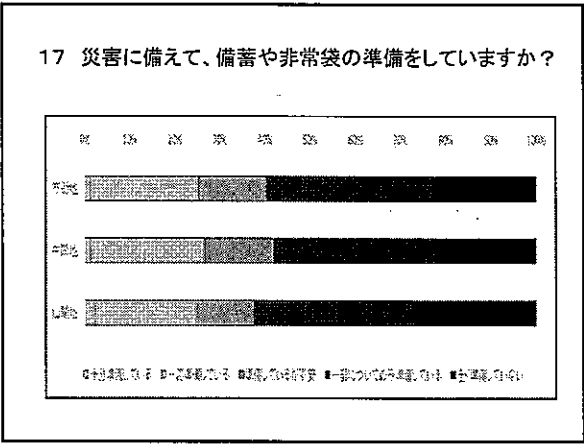
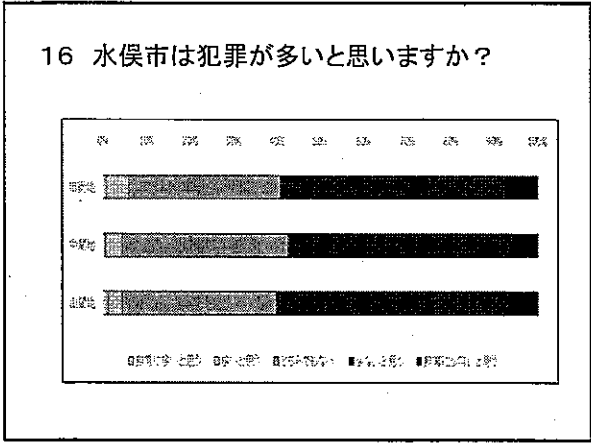
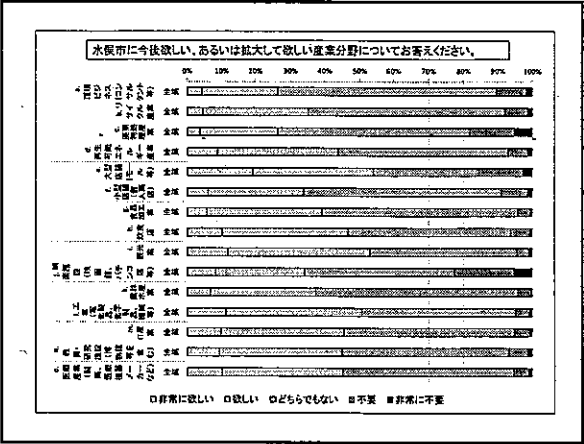
- a. 保健サービス(検診、予防接種等)
- b. 病院・医療施設の充実
- c. 子育て支援サービス
- d. 高齢者福祉サービス
- e. 障がい者福祉
- f. スポーツ環境
- g. 救急医療体制



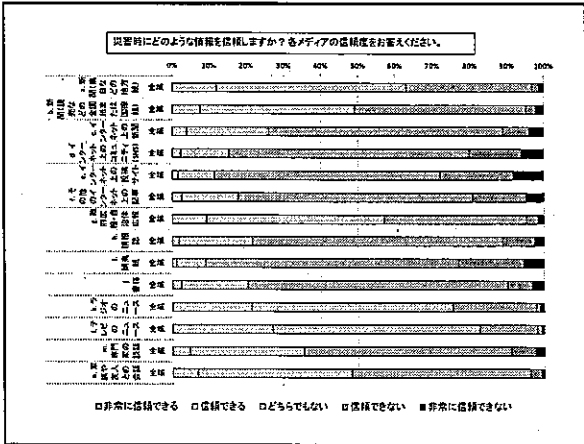
- 12 以下の項目に関する満足度についてお答えください。世帯の中に通学する方がいない場合でも、日常の印象からお答えください。
- a. 小中学校の数
 - b. 小中学校の施設設備
 - c. 小中学校の教育内容
 - d. 高校の数
 - e. 高校の施設設備
 - f. 高校の教育内容
 - g. 学習塾などの数
 - h. 学習塾などの施設設備
 - i. 学習塾などの教育内容
 - j. 生涯学習環境の充実や設備施設
 - k. スポーツ施設の充実や施設設備
 - l. スポーツイベントの回数
 - m. スポーツイベントの内容
 - n. 文化・芸術施設の充実や施設設備
 - o. 講演会等の文化・芸術イベントの回数
 - p. 講演会等の文化・芸術イベントの内容



- 15 水俣市に今後欲しい、あるいは拡大して欲しい産業分野についてお答えください。
- a. 環境ビジネス(コンサルタント等)
 - b. リサイクル産業
 - c. 廃棄物処理産業
 - d. 再生可能エネルギー産業
 - e. 大型店舗(モール等)
 - f. 小型店舗(個人商店)
 - g. 食品加工業
 - h. 飲食店
 - i. 観光業
 - j. 娯楽施設(映画館、パチンコ店等)
 - k. 農林水産業
 - l. 工業(電化製品、化学製品、機械等)
 - m. IT産業
 - n. 教育・研究施設(博物館等を含む)
 - o. 医療産業(製薬、医療機器メーカーなど)

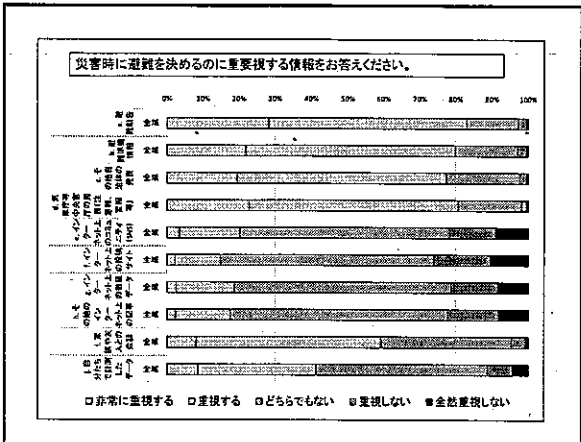


- 18 災害時にどのような情報を信頼しますか？各メディアの信頼度をお答えください。
- a. 新聞(熊日などの地方紙)
 - b. 新聞(読売などの全国紙または国際紙)
 - c. インターネット上の新聞
 - d. インターネット上のコミュニティ(SNS)
 - e. インターネット上の投稿サイト
 - f. その他のインターネット上の記事
 - g. 政府広報・自治体広報
 - h. 情報誌
 - i. 娯楽誌
 - j. 書籍
 - k. ラジオのニュース
 - l. テレビのニュース
 - m. 専門家の談話
 - n. 家族や友人との会話



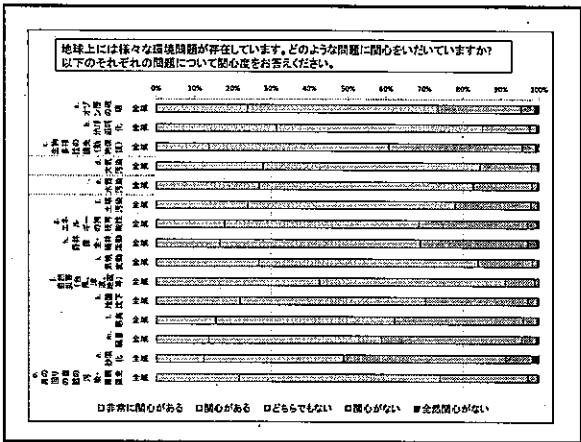
19 災害時に避難を決めるのに重要視する情報をお答えください。

- a. 避難勧告
- b. 避難準備情報
- c. その他自治体の発表
- d. 気象庁等中央官庁の発表(注意報、警報等)
- e. インターネット上のコミュニティ(SNS)
- f. インターネット上の投稿サイト
- g. インターネット上の数値データ
- h. その他のインターネット上の記事
- i. 家族や友人との会話
- j. 自分たちで計測したデータ



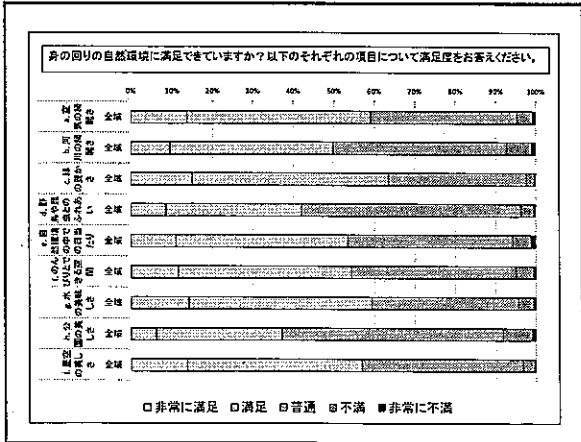
20 地球上には様々な環境問題が存在しています。どのような問題に関心を持っていますか? 以下のそれぞれの問題について関心度をお答えください。

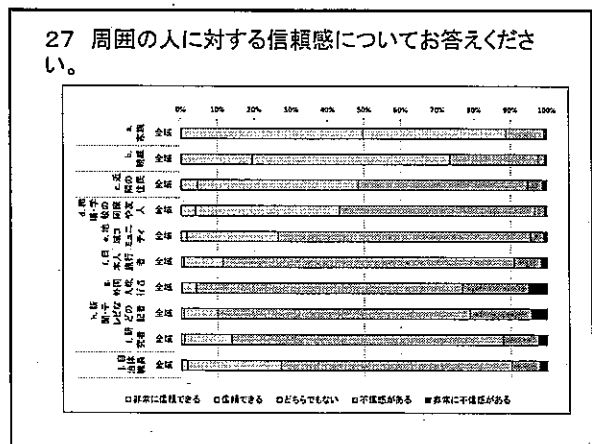
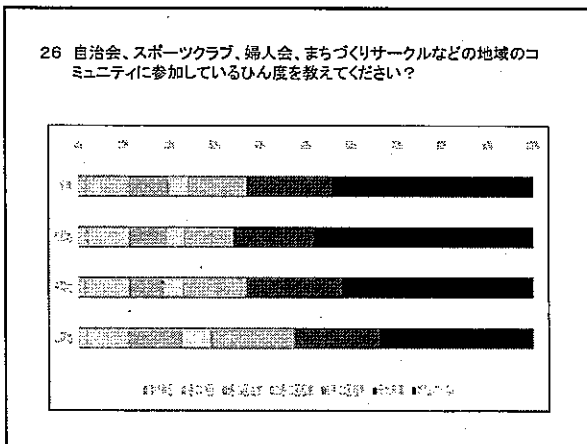
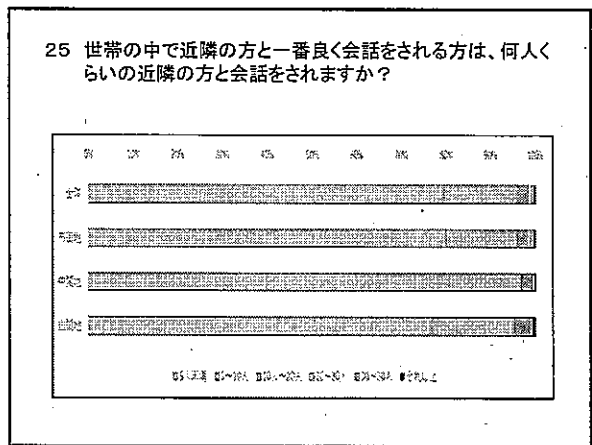
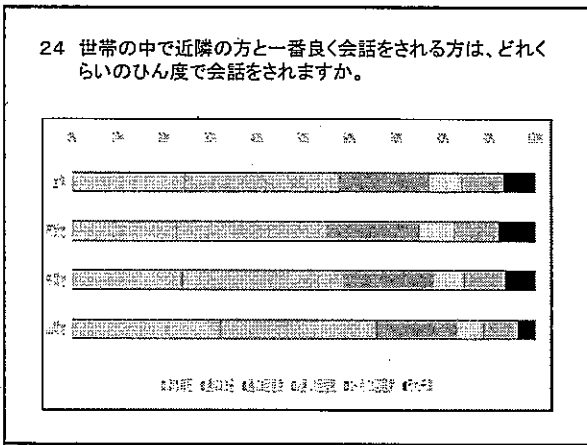
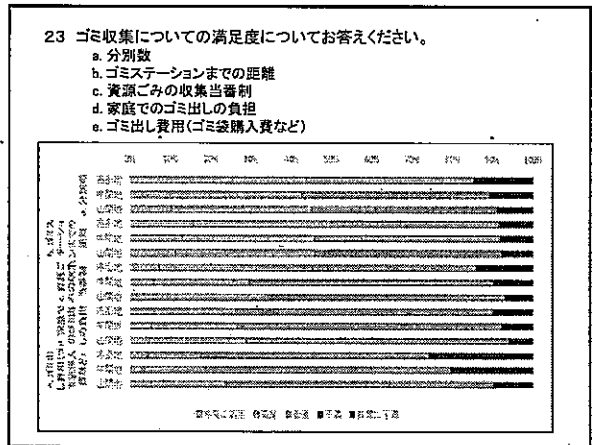
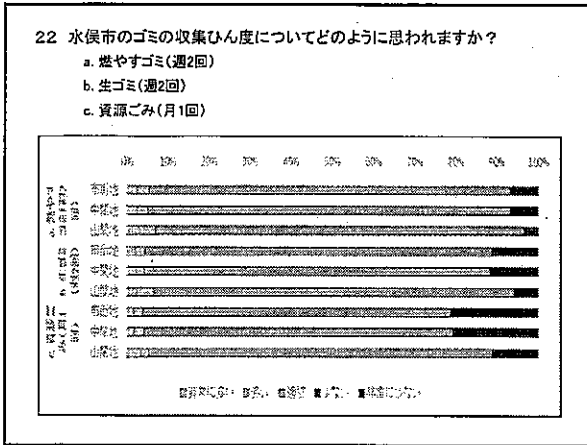
- a. オゾン層の破壊
- b. 地球温暖化
- c. 生物多様性の損失(動物保護)
- d. 大気汚染
- e. 水質汚染
- f. 土壌汚染
- g. エネルギーの持続可能性
- h. 森林保全・植林活動
- i. 気候変動
- j. 自然災害(台風、津波、地震等)
- k. 地盤沈下
- l. 悪臭
- m. 騒音
- n. 砂漠化
- o. 身の回りの自然の汚染・景観保全



21 身の回りの自然環境に満足できていますか? 以下のそれぞれの項目について満足度をお答えください。

- a. 空気の綺麗さ
- b. 河川の綺麗さ
- c. 緑の豊かさ
- d. 野鳥や昆虫とのふれあい
- e. 自然環境の中での日当たり
- f. のんびりとできる空間
- g. 水の美味しさ
- h. 公園の美しさ
- i. 星空の美しさ





28 平成6年から、水俣病問題を踏まえて地域に住む人々の中の絆(きずな)をつなぎなおし、地域社会の雰囲気(ふんいき)をより良くする取り組みが様々な立場の人により始められました。この取り組みを知っていますか？ お気持ちに一番近いものを番号を1つだけ選んでお答えください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
知っています	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
知りません	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※10は「その他」を意味します。

29 平成6年以降、こうした取り組みが続けられていますが、現在の、地域の人々の中の絆や地域の雰囲気(ふんいき)をどう評価しますか。下記から、お気持ちに一番近いものの番号を1つだけ選んでお答えください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
非常に良い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
良い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
普通	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
悪い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
非常に悪い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※10は「その他」を意味します。